

No.	026	—	2001	事務事業名	体育施設管理運営事務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	5 生涯スポーツの振興		主要施策	(2)スポーツ施設の整備充実・有効活用				
	事業の対象	市民及び利用者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市民当の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため、体育施設を設置し管理運営を行っています。				今年度						
	活動内容	①	体育施設利用の運営を行います。				④	施設予約システムを運用し、使用予定の管理を行います。					
		②	施設や設備の点検、修繕を行い、利用者が安全に利用できるよう管理を行います。				⑤	民間のノウハウを活用した経費の削減及びサービス向上を図るためツインドーム重信、農林業者トレーニングセンター及び川内体育センターの管理を指定管理者へ委託します。					
		③	利用者が快適に利用できるよう、備品の購入・入替を進めます。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		使用料	使用料収入の年間積算		千円	目標	16,794	24,581	21,831	23,000			
				実績	16,929	21,238							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費	平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	16,929 千円		26,968 千円		21,831 千円						
		一般財源	24,734 千円		38,968 千円		28,209 千円						
	計(A)	41,663 千円		65,936 千円		50,040 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.150 人	6,915 千円	1.400 人	8,431 千円	1.200 人	7,157 千円					
		臨時職員工数・経費	0.450 人	874 千円	0.450 人	865 千円	0.450 人	867 千円					
	全体事業費(A+B)		49,452 千円		75,232 千円		58,064 千円						
一次評価者	社会体育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民のスポーツ活動(スポーツ少年団・体育協会・総合型地域スポーツクラブ等)支援のため体育施設の充実を図る必要があります。また、多数の人に、市体育施設を利用していただくよう利用方法の周知を改善する必要があります。												
有効性	市体育施設にて東温市主催の各種大会(バレーボール大会・ソフトボール大会・運動会・マラソン大会)を開催することで市民の親睦交流の場になっています。												
達成度	引き続き、利用者がインターネットを通して気軽に予約できるよう施設予約システムの更改を行ったことで運用に係る経費を削減でき、また老朽化していたツインドーム重信トレーニング機器の一部を更新し、利用者が快適に利用できております。												
効率性	ツインドーム重信、トレーニングセンター及び川内体育センターの管理を指定管理者へ委託しており、民間企業のノウハウを活用し、サービス向上や経費削減に努めています。また、総合公園についてもサービス向上、経費削減の観点から指定管理者制度の導入を検討します。												
当面の課題	ツインドーム重信のトレーニング機器を更新する必要があります。川内体育センターの老朽化が進んでおり、改修する必要があります。												
改革計画	ツインドーム重信のトレーニング機器が経年劣化していることから、利用者への安全面を考慮し、引き続き、更新を行っていく予定です。川内体育センターは、建築後からの老朽化が進んでいることから、今後、大規模改修を計画します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	経年劣化している施設や機器は、施設利用者が安全に安心して利用できるよう、適切な修繕計画により施設の維持管理に努めてください。												

No.	026	—	2010	事務事業名	市民大運動会開催事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	5 生涯スポーツの振興		主要施策	(4) スポーツ活動の普及促進				
	事業の対象	市民 (37分館を対象)				根拠法令							
	事業の目的	最終的	全市民を対象とし、健康増進と市民相互の親睦・交流を深めます。			今年度	継続して開催します。						
	活動内容	①	リレー・綱引き・玉入れなどの分館対校種目			④	参加分館、参加者個人への参加賞の交付						
		②	子どもから高齢者まで広く参加できる種目			⑤	シャトルバス運行や仮設トイレ設置などのサービス						
		③	昼食・休憩時間帯を活用したアトラクション										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		参加分館数		市内全域を対象とし、全37分館の参加を目指しています。		分館	目標 37	37	37	37			
					実績 33	32							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	1,230 千円	1,300 千円	1,300 千円								
		一般財源	1,217 千円	1,729 千円	2,010 千円								
	計(A)	2,447 千円	3,029 千円	3,310 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.248 人	1,491 千円	0.248 人	1,493 千円	0.248 人	1,479 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,938 千円	4,522 千円	4,789 千円								
一次評価者	社会体育係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	2	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	スポーツを通しての親睦と交流の機会の必要性は重要です。												
有効性	参加者が一部の市民に限られているため、有効性に疑問があります。												
達成度	参加の分館が32で固定化しています。高齢化している分館の不参加が顕著です。												
効率性	コスト面においては有効な助成事業があることから適当と考えられますが、費用対効果の面では事業の見直しが必要と思われます。												
当面の課題	高齢化により不参加となる場合や街部の不参加など、コミュニティの希薄化が考えられます。												
改革計画	分散開催の方法や他のスポーツ大会の充実を図って親睦や交流の場を創出し、幅広い年代が気軽に大会に参加できるよう、全体の構想を検討する必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市民大運動会は、多くの市民が参加する唯一の大会ですので、競技内容の検討や見直しにより、継続してください。												

No.	026	—	2017	事務事業名	東温市ボート教室事務	細事務事業名	東温市ボート教室事務	公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	5 生涯スポーツの振興		主要施策	(4) スポーツ活動の普及促進				
	事業の対象	東温市内の小学校に通う高学年児童及び中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	ボート競技を体験することで、スポーツを通して青少年の健全育成を図ります。			今年度							
	活動内容	①	佐古ダムボート練習場で、愛媛大学ボート部員の指導によるボート体験教室を開催します。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		参加人数	実績		人	目標	30	30	30	30			
			実績			12	14						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費	平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	52 千円		51 千円		0 千円						
	計(A)	52 千円		51 千円		81 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	301 千円	0.050 人	301 千円	0.020 人	119 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.030 人	58 千円					
	全体事業費(A+B)		353 千円		352 千円		258 千円						
一次評価者	社会体育係	総合評価点	D	必要性	1	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	子どもたちにとって、ボート競技などいろいろなスポーツ体験を行うことは、青少年の健全育成に必要です。												
有効性	ボート競技という不断なじみの薄いスポーツを、気軽に体験できるため有効です。但し、市が艇を保有しているわけではなく単独で実施できるスポーツではないため、手軽に実施できないのが問題です。												
達成度	体験教室としては、概ね達成していますが、施設整備が十分に整っていないため、今後は、ボート競技の普及振興につなげていくことが必要です。												
効率性	以前は国の補助事業であったため、積極的な協力が得られましたが、市単独事業になってからは愛大ボート部の学生に直接依頼する形となり、指導資格者の派遣等内容の検討が必要です。												
当面の課題	参加人数の増加やボートの数が限られているため、待ち時間が長いことが課題となっています。また、施設・設備の老朽化への対策も必要です。												
改革計画	参加人数を増やし、競技人口の増加に繋げるため、水上だけでなく陸上の訓練体験やボートにまつわる興味深いエピソードの提供をしていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	D	必要性	1	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	関係団体との連携を図りながら、ボート人口の増加普及を目標として、地元東温高校にボート部が創部されるよう、底辺の拡大に努めてください。												

No.	026	—	2018	事務事業名	保健体育総務関連各種団体育成事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	5 生涯スポーツの振興	主要施策	(4) スポーツ活動の普及促進						
	事業の対象	全国・世界大会出場者、東温市スポーツ少年団、東温市スポーツ少年団指導者協議会				根拠法令							
	事業の目的	最終的	全国・世界大会の出場者に激励金を補助することで、スポーツ精神と競技力の向上に資することを目的とし、スポーツ普及を図ります。スポーツ少年団においては、活躍する人材育成と健全な心身を養い育みます。				今年度						
	活動内容	①	体育関係の全国大会、世界大会に出場する方に激励金を補助します。				④						
		②	東温市スポーツ少年団に活動補助金を助成します。				⑤						
		③	東温市スポーツ少年団指導者協議会に活動補助金を助成します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		全国・世界大会出場者		実績		人	目標 120	120	120	現状より↑			
					実績 93	147							
スポーツ少年団員		実績		人	目標 500	500	500	現状より↑					
					実績 317	308							
スポーツ少年団指導者		実績		人	目標 100	100	100	現状より↑					
					実績 82	91							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,792 千円	2,325 千円	2,145 千円								
	計(A)	1,792 千円	2,325 千円	2,145 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.538 人	3,235 千円	0.538 人	3,240 千円	0.538 人	3,209 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,027 千円		5,565 千円		5,354 千円						
一次評価者	社会体育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	全国大会等に出場する実力がある個人や団体に補助することによる波及効果で市民のスポーツ普及促進が期待できます。スポーツ少年団は、将来活躍する人材の育成に必要です。												
有効性	好成績を残して、全国大会等に出場する個人や団体に補助することで市民のスポーツ普及促進に努めます。												
達成度	激励金交付により、東温市のスポーツ精神等の向上を図り、スポーツ普及に努めております。スポーツ少年団では、スポーツを行う人材の育成に努めております。												
効率性	コストダウンにはなじまない事業と考えられます。												
当面の課題	全国大会に出場する選手は出現していますが、国際大会等で活躍する選手が育っていません。また、少子化の影響で、子ども自体の人数が減少しています。指導者においては子どもの卒団とともに指導から離れる傾向にあります。												
改 革 画	行政や民間との協働により、選手の育成を進める必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	関係団体との連携を図り、トップコーチ等を招聘したスポーツ教室開催などにより、ジュニア育成に努めてください。												